

効果概要: 5か年加速化対策等により河道拡幅や橋梁架替、調節池整備を実施したことで、平成28年8月台風9号と同規模の洪水時に対して、水位を約1.2m低下させ、不老川本川からの溢水を回避し、床上浸水被害を防止することが可能となった。

府省庁名: 国土交通省

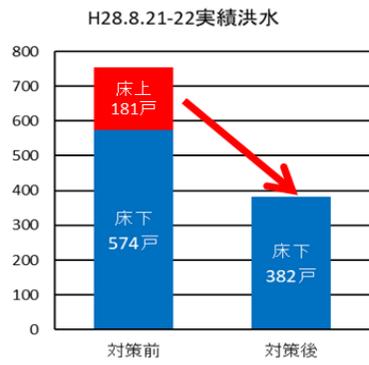
■ 実施主体: 埼玉県

■ 対策の概要及び事業費:

主な事業	対策内容	事業費	対策期間
不老川床上浸水対策 特別緊急事業	河道拡幅、橋梁架替、 調節池整備	約104億円	H29~R4
うち5か年加速化対策	河道拡幅、橋梁架替、 調節池整備	約45億円	H29~R4

水位低減効果

■ 平成28年8月台風9号と同規模の洪水に対する効果



未整備の場合

河道拡幅や橋梁架替、調節池整備が行われなかった場合、溢水により不老川中上流部(狭山市、入間市)で床上浸水被害が発生する



床上浸水被害の解消

河道拡幅

不老川(狭山市) ※左図①



整備前(令和3年8月撮影)



整備後(令和4年8月撮影)

調節池整備

大森調節池(入間市) ※左図②



整備前(平成30年12月撮影)



整備中(令和4年7月撮影)